第10回　留萌川減災対策協議会・流域治水協議会

国土交通省

- 大規模氾濫による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進することや、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる流域治水を計画的に推進するため、「留萌川減災対策協議会」と「留萌川流域治水協議会」を合同開催しました。
- 今回で第10回目となる協議会では、令和6年度に実施した各機関の取組の実施状況を共有し、引き続き関係機関が連携して取組を推進していくことを確認すると共に、国が進める施策や支援事業などについて情報共有しました。

■日時：令和7年2月21日（金）　13：30～14：30
■場所：留萌開発建設部　1階　第1会議室　（WEB併用）
■参加機関：1市8機関
　留萌市、留萌開発建設部、留萌振興局、旭川地方気象台、
　留萌南部森林管理署、留萌消防組合、陸上自衛隊（留萌駐屯地）
　北海道警察（旭川方面本部、留萌警察署）
■主な議事
　1．協議会の経緯・目的
　　・両協議会の設置経緯と目的について説明した。
　2．取組の実施状況
　　・各機関から、今年度の取組内容を報告した。
　3．意見交換
　　・各機関の取組状況や今後の取組方針などについて意見交換した。
　4．今後の予定、進め方
　　・次年度の協議会に関わる実施スケジュールを確認した。
　5．情報提供
　　・国が進める施策や支援事業などについて情報共有した。

WEBを活用した協議会の様子

開会挨拶の様子
（留萌開発建設部長）

留萌市長

留萌振興局
副局長（代理）

旭川地方気象台長

留萌南部森林管理署長

留萌消防組合
留萌消防本部長

陸上自衛隊（留萌駐屯地）
第26普通科連隊 連隊長

主な意見

国土交通省

留萌開発建設部長

- 近年の異常気象で、激甚化・頻発化していると言われているが、天塩川下流においては、昭和63年の大洪水から36年が経過し、流域にお住まいの方々も、その当時の災害の記憶がだんだん薄くなってきていると思っている。留萌管内では、昨年7月に記録的な短時間降雨を観測し、留萌市で土砂災害等の被害が発生したところでもあるため、本協議会において、皆様と改めて取組の趣旨などを再確認していきたい。

留萌南部森林管理署長

- 森林管理署では留萌川上流の国有林を管理しており、土砂災害の防止や水源涵養などの機能を発揮させるために間伐や保育等の森林整備、治山事業による森林及び国土の保全などを行っている。
- 近年は、局地的に豪雨等により被害が発生することも多くなっているため、引き続き適切な森林整備、治山事業による森林及び国土の保全などを行うとともに、融雪期や豪雨後に林野巡視を行って、被害が発生した場合には適切に対応していきたい。

留萌市長

- 自衛隊や海上保安庁、警察などと協力し、毎年、市民の防災訓練を実施している。昨年は孤立地域の対応を想定した訓練を実施した。いざという時の備え、様々な災害に対応するためにも、今後も継続して訓練を行っていきたい。
- 平成30年の洪水時に避難指示を出したが、2割程度しか避難をしていないのが現状である。気象台の協力も得ながら、近年の異常気象の状況や危険性を地域住民のみなさんに伝えていきたい。

留萌消防組合
留萌消防本部長

- 留萌消防組合では、消防団員は水防団員を兼ねており、災害時に活動している。今後とも加入促進に力を入れていきたい。
- 昭和63年に水害を経験し、実際に水防・救助活動を経験した。こういった経験を、職員などにも情報共有していきたい。

留萌振興局
副局長（代理）

- 留萌市内では、令和6年の7月に局地的な豪雨があり、建設管理部が管理している河川で若干の被害があった。幸い大きな被害がなかったが、事前防災が大切だと改めて感じている。
- 留萌川の支流のタルマップの整備に向けた関係機関との調整や、支流の堆積土砂や立木などの除去、砂防事業の推進、農地・森林の整備を通して、減災対策を進めていきたい。
- また、協議会や防災訓練、防災教育など、引き続き皆様方と連携して対応していきたい。

陸上自衛隊（留萌駐屯地）
第26普通科連隊 連隊長

- 昨年は、コアとなる4つの基幹部隊の防災訓練を港で実証した。港の海を川に置き換えて応用し、物資の輸送や給食支援、避難民の輸送などに対応していきたい。
- 浸水時には、高機動車やボート、ヘリコプターなどで対応にあたる。治水、減災、防災という観点で少しでも力になれるように頑張りたい。

旭川地方気象台長

- 気象庁と国土交通省水管理・国土保全局、外部有識者も含めて、防災気象情報に関する検討会を開催し、シンプルで分かりやすい防災気象情報の再構築に向けた議論を進めている。
- 防災対応や防災行動が必要であることを簡潔に伝えるべく警戒レベル1から5に相当する防災気象情報がシンプルで分かりやすいものとなるよう、警報の名称変更などの防災気象情報のバージョンアップを令和8年の出水期の導入を目指して計画している。

北海道警察
旭川方面本部
警備課課長補佐（代理）

北海道警察
旭川方面留萌警察署
警備課長（代理）

- 関係機関の皆様と顔の見える関係づくりを継続していくことが大事だと思っている。
- 継続して訓練を実施し、また住民の方への広報などを実施していきたい。
- 今後とも関係機関の方の知見を賜りながら、災害が起こらないための予防、災害が起こった場合の対応の両面から関係機関と協力していきたい。